

令和4年度 相談支援部会

GSVの手法を活用し、事例検討を行い、地域課題の抽出、アイディア出しを行った。

昨年度までに抽出された地域課題の中から「島しょ部の資源不足」という課題について、話し合いを行い、不足している資源、今ある資源のまとめを行った。

地域生活支援拠点について、緊急支援登録者情報の様式の改正や、対象者について検討を行った。

開催回数	①令和4年 4月8日(金)	⑦令和4年10月14日(金)
	②令和4年 5月13日(金)	⑧令和4年11月11日(金)
	③令和4年 6月10日(金)	⑨令和4年12月9日(金)
	④令和4年 7月8日(金)	⑩令和5年 1月13日(金)
	⑤令和4年 8月12日(金)	⑪令和5年 2月10日(金)
	⑥令和4年 9月9日(金)	⑫令和5年 3月10日(金)
メンバー	○今治市基幹相談支援センター	○今治市障害者地域活動支援センターときめき
	○今治市障がい者生活支援センター	○指定相談支援事業所今ねっと
	○今治市発達支援センター	○今治市障がい福祉課
	○障害者就業・生活支援センターあみ	○上島町住民福祉課
主な内容	4月	◆部会員紹介・自己紹介 ◆事業実施報告(障害者施設きくま) ◆各事業所からの連絡・報告(毎月) ◆今年度の取り組みについて
	5月	◆緊急支援登録者情報(身体障がい者)について分析 ◆R3年度の地域課題について検討
	6月	◆事例検討:ときめき ◆R4年度に相談支援部会で話し合う地域課題の選定
	7月	◆事例検討:あみ ◆地域生活支援拠点 緊急支援登録者情報の訂正・追加について
	8月	◆事例検討:基幹相談支援センター ◆島しょ部の資源不足について(大島)
	9月	◆事例検討:障がい者生活支援センター ◆島しょ部の資源不足について(伯方)
	10月	◆事例検討:今ねっと ◆島しょ部の資源不足について(大三島)
	11月	◆事例検討:あみ ◆地域生活支援拠点の事業対象者について
	12月	◆地域生活支援拠点の事業対象者について ◆島しょ部の資源不足について(閏前)
	1月	◆事業実施報告(障害者施設きくま) ◆島しょ部の資源不足について(まとめ)
	2月	◆事業実施報告(グリーンゲーブル) ◆島しょ部の資源不足について(まとめ) ◆R5年度の取り組み
	3月	◆R4年度地域課題へのアイディア出し ◆島しょ部の資源不足について(まとめ)
事例検討から抽出された地域課題	<ul style="list-style-type: none"> ○既存の資源で対応しきれない課題があるため、柔軟に対応できる資源が必要。 ○大人になってから診断された方への対応。いかに早期療育・支援につなげができるか。 ○不登校の方が学校を卒業した後のつながり。家族へのアプローチ・支援。 ○新型コロナウィルスに関して、障がいがある方が受診の必要がある際、付き添い・移動手段等の支援方法がない。 ○重度の方が利用できる施設が限られている。 ○福祉関係以外の方が福祉サービスを知る機会の不足。 	
島しょ部の資源不足について	<p>各島ごとに「今ある資源」、「不足している資源」について意見を出し合い、一覧表にまとめた。「今ある資源」の一覧表については今治市内のサービス提供事業所に島しょ部への訪問や送迎の対応についてアンケートを行い、関係機関で情報共有できるように進めていく。</p>	
地域生活支援拠点について	<p>緊急支援登録者情報の様式について訂正や修正を行った。今年度も緊急支援登録者情報の更新や追加を行っている。 地域生活支援拠点の事業対象者について検討を行い、要項を作成した。 日中支援型の共同生活援助の事業所から、R4年度の事業報告を受けた。</p>	

令和4年度 就労支援部会

開催回数	①令和4年 4月20日 ④令和4年10月25日	②令和4年 6月16日 ⑤令和4年12月22日	③令和4年 8月17日 ⑥令和5年 2月16日		
メンバー	○ステップ ○サポートかけはし ○サスケ設計工房今治 ○ふきあげワークス ○朝倉作業所 ○障害者施設 のま ○健心工房 ○さとやま ○まんまるファクトリー ○ハローワーク ○基幹相談支援センター ○正光会今治病院 ○プリズム	○パドル ○株式会社ネオリサイクル ○クリエイト21 ○すくらむハート ○リアン ○カイト今治 ○かえでファーム ○しまなみテラス ○ひなた別宮 ○愛媛県産業技術専門校 ○今治市障がい福祉課 ○アキクリニック	○マルクワーカス喜田村 今治営業所 ○今治ワークス（エンゼル21） ○アクティブマインド ○麦の穂 ○エコストーションはるかず ○サポートかけはし東鳥生 ○イマバリ寺ス ○職人集団 ○今治特別支援学校 ○就業・生活支援センターあみ ○Dクリニック		
主な内容	部会で取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・一般就労にまつわるテーマと一般就労以外にまつわるテーマをもとに、座談会や事例検討を通じ意見交換を行うことで、支援者のスキルアップとネットワークの構築を図る。 ・各事業所が抱える困りごとから地域課題を抽出・把握することで地域課題へのアプローチへとつなげていく。 			
4月	座談会 一般就労に関する困りごとについて 一般就労以外の困りごとについて				
6月	事例検討 就職後の定着支援について 事例提供：パドル				
8月	ピアサポート 仲間同士の支えあいについて ～コーディネーターの必要性～ 講師：今治公共職業安定所				
10月	困りごとから考える地域課題「一般就労について」				
12月	連携についての困りごとから地域課題を抽出するプロセスを学ぶ				
2月	福祉サービス事業所から一般就労に向けた送り出しの事例				

R4年度 発達支援部会実績

◎開催回数	①R4年 6月 8日（水） ②R4年 8月 4日（木） ③R4年 10月 6日（木） ④R4年 12月 1日（木） ⑤R5年 2月 2日（木）												
◎メンバー	○今治市基幹相談支援センター ○今治市障がい者生活支援センター ○指定相談支援事業所 今ねっと ○今治特別支援学校 ○児童発達支援センター ひよこ園 ○子育て応援ステーションばんび ○いまばりカラーズ ○ちゃばとひよこ ○今治保健所 ○今治市中央保健センター ○今治市保育幼稚園課 ○今治市ネウボラ政策課 ○今治市小・中学校 ○今治市教育委員会 学校教育課 ○今治市発達支援センター												
	テーマ ○発達障害のある方が暮らしやすい環境づくりを目指して												
◎主な内容	<table border="1"> <tr> <td>部会で取り組んだこと</td><td> <ul style="list-style-type: none"> 事例検討やミニ講演を通じて本人や家族が発達障害の特性を理解するための支援や対応策を考え、地域課題について検討した。 『サポートブックぱりぱり』とR3年度作成した『支援体系図』の活用と啓発について協議した。 </td></tr> <tr> <td>6月</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ◆自己紹介 ◆地域課題について(R3年度2月部会中止分) ◆学校教育課ミニ講演 ◆各学校の現状報告(小中支援学校、支援学校) </td></tr> <tr> <td>8月</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ◆事例検討(就学期前期の事例をもとに支援の方法を検討) ◆サポートブックぱりぱりの活用について、具体的な意見・感想を聞き、今後の周知と活用の仕方を検討 </td></tr> <tr> <td>10月</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ◆各支援機関同士の連携についてグループ討議し、支援機関が連携していくために今後必要な事項を共通理解 ◆支援体系図の啓発 </td></tr> <tr> <td>12月</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ◆障害者就業・生活支援センターあみによるミニ講演 ◆事例検討(就労につなげるための支援の方法を検討) </td></tr> <tr> <td>2月</td><td> <ul style="list-style-type: none"> ◆今年度の部会の反省、要望等を事前アンケートで実施し周知 ◆次年度の計画作成 </td></tr> </table>	部会で取り組んだこと	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討やミニ講演を通じて本人や家族が発達障害の特性を理解するための支援や対応策を考え、地域課題について検討した。 『サポートブックぱりぱり』とR3年度作成した『支援体系図』の活用と啓発について協議した。 	6月	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己紹介 ◆地域課題について(R3年度2月部会中止分) ◆学校教育課ミニ講演 ◆各学校の現状報告(小中支援学校、支援学校) 	8月	<ul style="list-style-type: none"> ◆事例検討(就学期前期の事例をもとに支援の方法を検討) ◆サポートブックぱりぱりの活用について、具体的な意見・感想を聞き、今後の周知と活用の仕方を検討 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ◆各支援機関同士の連携についてグループ討議し、支援機関が連携していくために今後必要な事項を共通理解 ◆支援体系図の啓発 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ◆障害者就業・生活支援センターあみによるミニ講演 ◆事例検討(就労につなげるための支援の方法を検討) 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ◆今年度の部会の反省、要望等を事前アンケートで実施し周知 ◆次年度の計画作成
部会で取り組んだこと	<ul style="list-style-type: none"> 事例検討やミニ講演を通じて本人や家族が発達障害の特性を理解するための支援や対応策を考え、地域課題について検討した。 『サポートブックぱりぱり』とR3年度作成した『支援体系図』の活用と啓発について協議した。 												
6月	<ul style="list-style-type: none"> ◆自己紹介 ◆地域課題について(R3年度2月部会中止分) ◆学校教育課ミニ講演 ◆各学校の現状報告(小中支援学校、支援学校) 												
8月	<ul style="list-style-type: none"> ◆事例検討(就学期前期の事例をもとに支援の方法を検討) ◆サポートブックぱりぱりの活用について、具体的な意見・感想を聞き、今後の周知と活用の仕方を検討 												
10月	<ul style="list-style-type: none"> ◆各支援機関同士の連携についてグループ討議し、支援機関が連携していくために今後必要な事項を共通理解 ◆支援体系図の啓発 												
12月	<ul style="list-style-type: none"> ◆障害者就業・生活支援センターあみによるミニ講演 ◆事例検討(就労につなげるための支援の方法を検討) 												
2月	<ul style="list-style-type: none"> ◆今年度の部会の反省、要望等を事前アンケートで実施し周知 ◆次年度の計画作成 												